

「京の五節句と年中行事」

ちょうよう

重陽の節句展



この節句は、中国の陰陽道の中で最も大きな陽数(奇数)「9」が重なる日を、「陽が重なる」と書いて「重陽の節句」と定め、不老長寿を願ったことから始まったといわれています。邪気を避け長寿をもたらすとされた菊酒や、呉茱萸の実を袋に入れた茱萸袋を身につける風習が中国より伝わり、平安時代の宮中では茱萸袋が御簾などに掛けて飾られました。

このような暮らしに息づく文化を継承し、皆様の無病息災や健康長寿をお祈りすることを目的とした「重陽の節句展」を開催します。

期 間 令和7年10月7日(火)～10日(金)
午前9時～午後5時

場 所 上京区総合庁舎1階 区民交流ロビー

主 催 京の暮らしの文化普及啓発実行委員会、上京ふれあいネット運営協議会

協 力 いけばな嵯峨御流 教授 石川利佳甫 氏、京人形司 大橋式峰、
国定織物株式会社、有限会社テラヲ貸物店

重陽の節句体験

無料

事前申込制

日 時 令和7年10月10日(金)午後2時～午後3時

場 所 区総合庁舎4階 大会議室1

内 容 重陽の節句にちなんだ茱萸袋のミニアレンジと着せ綿に触れる体験

対 象 小学生以上で区内在住の方

※小学生は保護者同伴、保護者も体験に参加の場合は別途要申込

定 員 20名(先着順)

講 師 いけばな嵯峨御流 教授 石川利佳甫 氏

申込み 9月24日(水)午前9時から10月1日(水)までに
二次元コード又は電話にて

主 催 上京ふれあいネット運営協議会

問合せ 上京区役所地域力推進室(企画連携担当) 電話: 075-441-5029



茱萸袋

※制作イメージ



◀お申込みは
こちら